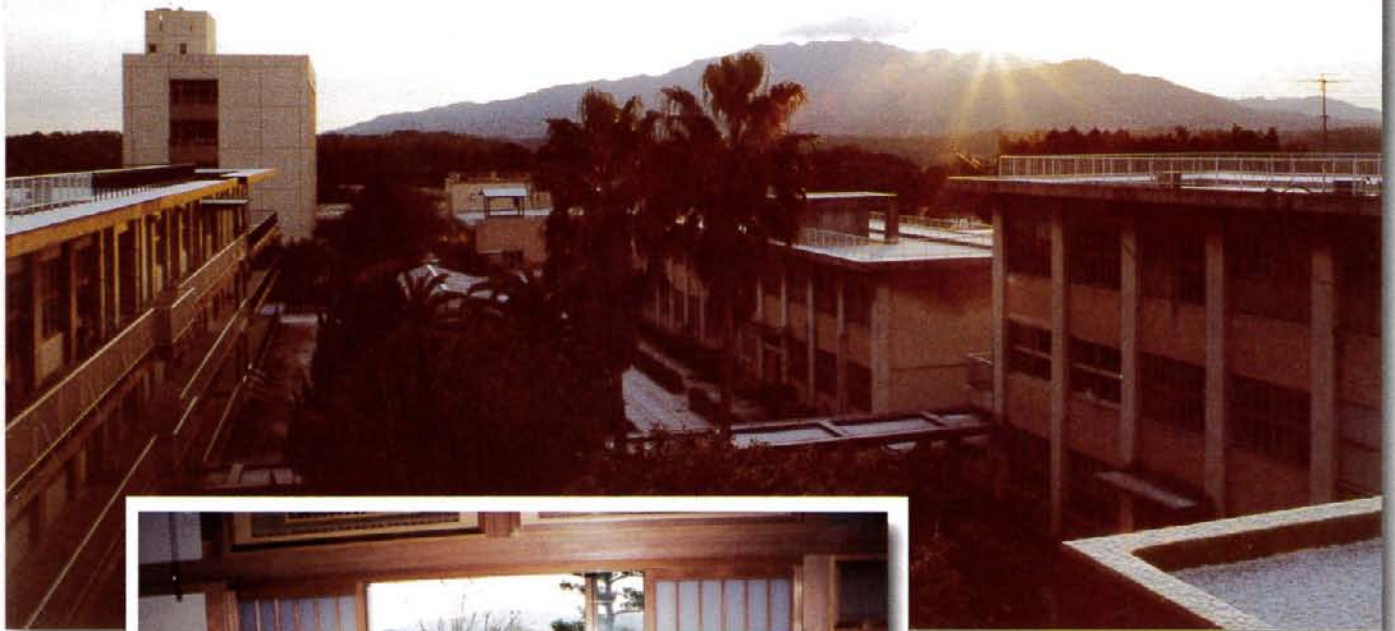




有明高専だより

第103号
2001.3



まず障子を開けて見よ、
外の世界は広いぞ。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 特集 21世紀への抱負：P 2 | P11：シリーズ クラブ紹介 |
| シリーズ 研究室訪問：P 4 | P12：工場見学報告、工事担任合格者 |
| シリーズ 人物 いま：P 5 | P13：特別講演会、留学生弁論大会、英検合格者 |
| 特集 5年生対談：P 6 | P14：新学生会、クラブリーダー研修会 |
| 建築設計競技：P 8 | P15：岱明寮だより |
| 冬季球技大会、ラグビー高専大会：P10 | P16：吹奏楽部定期演奏会 |

※本文中において、学生氏名の前にある英数字は、所属クラスを表します。

数字は学年、英字は学科（M：機械工学科、E：電気工学科、I：電子情報工学科、C：物質工学科、A：建築学科）です。

21世紀へ

健康第一

病気や事故に遭わないように元気で健康に過ごす (1E 中村貴幸)

早寝早起き

2アウトからでも這い上がる

やりたいことだけでなく、やるべきことをやる (1I 野田 薫)

日本を救う!

世界に平和がもっと広がります

後悔することがないように、何にでも精一杯取り組んでいく (1M 板橋沙愛)

1教科でもいいから100点を取る

どんな小さな事でもいいから誰にも負けない特技を身につける (1C 石橋龍太)

21世紀中に英検1級を取りたい

いろんなものを見て聞いて体験して、グローバルな人間になりたい (1A 馬場晶夫)

高分子を極めたい

BIGになる!

とにかく日本一!

今以上によりよい世界にするために自らの力で世界を変えていきたい。技術者として… (2M 江口 剛)

有言実行!

愛に生きる!

ボランティアをしまくる、体が不自由な人を介護する、人に優しくする (2E 河内勇樹)

いろんな事に挑戦して、夢中になれるものを見つけない (2I 田崎菜緒)

平凡に生きる

何事も一生懸命コツコツと (2C 藤木華菜)

前へ前へ

自然体

死ぬときに惜しまれるくらいにはなりたいです (2A 大古場一樹)

プラス思考!

22世紀まで生きる! 世界長寿記録更新!

小さなひらめきも大切にして夢見ていた21世紀を実現させたい (3M 福田正雄)

世界を駆け回るカリスマサラリーマン

歴史を変えてみせる!

言葉、声、文字にできないことを形にする

明日のことを考えないくらいがむしゃらに自分の道をつつ走る (3E 吉谷友輔)

の抱負

ように願います

幸せになる！

留学の経験を活かして、国と国との架け橋になるように頑張る (5C ワンマコン)

流れる水のごとく

頑張れ俺、日々の反省を怠らず、後悔しない人生を送る、銘は人間万事塞翁が馬 (5I 西村博志)

預金残高1億円！

初志貫徹することを目標として、積極的に動ける自己を確立する (5A 柳 聖子)

残すべきものを大切にしていきたい。そして残すべきものを生み出したい (5E 木村彰宏)

タイムマシンを作る！

味覚センサ2号を作る

宇宙へ行く、月から地球を見る。2030年までに火星へ行く

作り出す前世紀から、今世紀は還す世紀で、地球を守る (5M 中村圭吾)

機械でみんなに夢を与える♡

自分の夢を叶え、その実現された夢を通じて、21世紀の子供達に夢を与えたい (4A 志垣生野)

本物のドラえもんを見て死ぬんだあ！

日々、努力を怠ることなく、一步一步確実に成長していきたい (4C 奥村 恵)

一日一善！

3歩進んで2歩下がる

家族を幸せにできるように頑張ります (4I ラハトカビル)

親孝行をする

“幸せ”なおばあちゃんになる

おそらくお母さんになるはずなので、トマトを食べられるようにしておく (4E 福山祐佳)

美白

いつも心に太陽を！

物事に対して常に不満足であり続けたい (4M 梶原理宏)

やりたいことは全部挑戦し、死ぬときに「やり残したことはない」と言えるような人生を送る (3I 菊池加奈子)

ともだち100人！

どんなに小さな夢でも、今と夢が変わっても、夢のためにチャレンジと努力を忘れない (3A 諏訪園未帆)

世界1周放浪の旅

心の広い人間になりたい (3C 青山聡美)

歴史に名を残す

上原修一 研究室 (建築学科)

—どんな研究をされているのですか

ここ数年にわたり取り組んでいる研究のテーマを、私は「鉄筋コンクリート構造の統一理論」と呼んでいます。学生のみなさんも、アインシュタインの「統一理論」という言葉を聞いたことがあると思います。この世の現象すべてを一つの理論で説明しようという、いわば究極の理論です。私の研究テーマも、建築や土木構造物に使われる「鉄筋コンクリート構造」のさまざまな力学現象を説明できる理論を構築することです。

—この研究をはじめられたきっかけは

研究はテーマを決めることが最も難しいと思います。私も、この研究テーマに至るまで試行錯誤の連続でした。10年余り、自分なりに興味のあるテーマで研究を続け、その研究の流れの中で「誰もやっていないもので工学的に有用なテーマを」と考えつづけた末に生まれたものがこのテーマでした。親しい研究者仲間からは、「面白いテーマ」との評価を得ています。

—この研究の面白いところは

何とんでも、「自分の考案した理論によって実際の現象をきちんと予測できること」です。あたりまえの話ですが、そのことを知っているのは自分ひとりです。思い通りの結果が出て、それを論文にするときにはわくわくします。

—今後の研究の予定

コンクリートは、土木建築のあらゆる分野で使われています。鉄筋コンクリートだけに限らず、鉄骨や炭素繊維などの新素材と組み合わせても使われます。今後は、私の提案する理論が、そのような多様なコンクリート系構造にも適用できることを示していくつもりです。私は、この理論はそれが可能と考えています。それが、「統一理論」のいいところなのです。



嘉藤 学 研究室 (電子情報工学科)

—どんな研究をされているのですか

『ネットワークの性能評価』です。これは、待ち行列理論と呼ばれる解析手法や計算機によるシミュレーションなどの手法を用いて、ネットワークの性能を定量的に明らかにする研究です。これまで幾つかのテーマに取り組んできました。通信を行うには送信側と受信側で幾つかの約束事(プロトコル)を決めておく必要がありますが、高速ネットワークを対象としたプロトコルの評価がそのうちの一つです。また、一定時間に転送できるデータ量が最大となるような最適なネットワーク構成を決定するためのアルゴリズム(計算手順)などについても取り組んでいます。

—この研究を始められたきっかけは

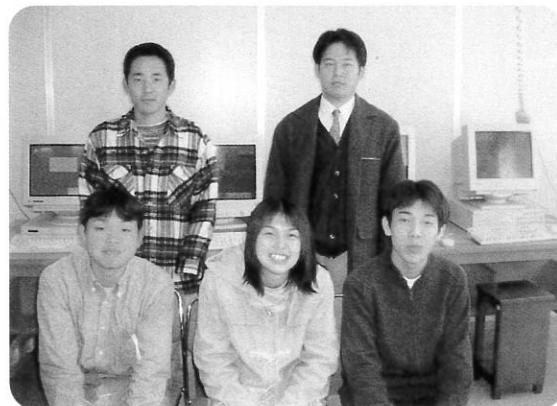
一人の先生との出会いです。佐世保高専時代に尾家祐二先生の研究室を希望し配属されました。ネットワークは人と人とのコミュニケーションの形態の一つを提供しますが、このネットワークを研究するのは面白そうだなと思ったからです。大学編入の年に尾家先生も同じ大学へ転勤されたので、さらに大学4年での卒業研究、大学院修士課程と指導を受けることができました。このように高専・大学・大学院に渡って、この恩師より研究の仕方を学ぶことができました。

—この研究の面白いところは

評価を行った結果、考案したアルゴリズムやプロトコルが、予想以上の高い性能を示すことが明らかになったときなどは特に嬉しいですね。

—学生へのアドバイス

研究だけに限らず、尊敬できる身近な人の物事への取り組み方を真似てみるのが大切だと思います。



永年勤続20年を迎えられた4人の方々にインタビューしました。



一般教育科 塚本 邦重 先生

- 20年間での一番の思い出
全国高専体育大会で剣道部が優勝できたこと！
- 20年前と今について
学生の気質が変わった。今の学生はケジメがなくなってきたのでは。

- 20年で自分が変わったところ
時代の流れに逆らえず、丸くなったのでは。
- これからの生き方は？
型にはまらず、あるがままに。
- モットー
真面目にコツコツと。
- 学生に一言
鉄は熱いうちに打て。今の時期をしっかりと頑張ってもらいたい。(ユーモアが必要なときもあるけれど) 物事は真剣に考えてほしい。



一般教育科 焼山 廣志 先生

- 20年間での一番の思い出
12年前の赴任初年度に担任を任されたことです。半年間は、高専のシステムやクラスの学生の状況がわからず、大変苦労しました。

しかし、高専祭をきっかけに学生との関係がうまく行くようになり、彼らとは卒業後の今でも交流を続けています。

- モットー
周りの人に流されることなくマイペースで生き続けること。「夜明け前が一番暗い」という言葉があるように、何事にも悲観的にならず前向きに生きる精神力を持ち続けたいです。
- 学生に一言
学生諸君は、高専のすばらしさをもっと自覚して日々の学園生活を充実させて下さい。そして、高専でしか体得できなかったことを社会でアピールできる人間になって欲しいと思います。

- 現在の研究
菅原道真の漢詩文の作品にのめり込んで20年、太宰府時代の全作品の注釈を本として出版することが当面の目標です。1100年前の生身の人間の声を、現在によみがえらせることができればいいなと思っています。



一般教育科 徳田 仁 先生

- 20年間での一番の思い出
ラグビー部の顧問だったとき、高専大会で一勝したことです。それまで7年間、初戦敗退でした。その年は、会場八代高専、相手は大分高専でした。有明が勝ったんです。涙を流さない主義ですが、グラウンド隅のトイレの中でこっそり涙を拭きました。

- 20年前と今について
20年前は学生も私ももっと元気がありました。学生は納得いかないことがあれば突っかかってきましたし、私も学生に腹を立てて教室のドアを蹴破ったこともありました。
- 20年で自分が変わったところ
智に働かなくなり、情に竿をさすことも少なくなり、意地も通さなくなりました。気が楽になりました。

- 現在の研究
イギリスの詩人ワーズワスの『序曲』という長篇詩のイメージリーを研究しています。ベルグソンの時間の理論で、ワーズワスの詩を分析して、詩人の時間意識を明らかにしようとしています。



学生課 中村 雄一 さん

- 20年で思い出に残ること
窓口納付であった授業料等を現在の振込納付制度に変更した業務に携わったこと、平成9年度九州地区高専体育大会で本校が開催主管校だったときの業務に携わったことなどです。大変でしたが、良い思い出になりました。

- 勤続20年を迎えての抱負
これまでいろいろな事柄に対して、目標に早く到達することを目的にしていたのでは？という反省があります。今後は、そこに到達するまでのプロセスも充実させ、大切にしていきたいです。また、本校の事務職員として自分の職責が果たせるように、今後も努力していきたいです。

- 自己紹介(趣味、家族など)
現在、寮務係で「寮生にとって住み良い寮」を目指し、皆様とともに頑張っています。趣味は、魚釣り、天草まで出かけています。家族は、妻と子供3人です。小学生の2人は本校のグラウンド等でときどき遊んでおり、学生の皆さんから親切にしてもらっていると話しています。

卒業をひかえて

卒業をひかえた5年生に高専生活5年間の思い出などを語ってもらいました。

司会：皆さん、新年あけましておめでとうございます。今日は卒業研究等いろいろと予定があり、大変忙しいことと思いますが、各学科を代表して出席していただきました。

5年間の高専生活を振り返って、印象に残ったこと、後輩へのアドバイス等を中心に話を聞かせて下さい。

狩野君から自己紹介をお願いします。

狩野：5Mの狩野です。去年は高専祭実行委員長をやらせていただきました。

森田：5Eの森田です。バスケットをやっていました。

山崎：5Iの山崎です。文化局長やプラスバンドをやっていました。

井口：5Cの井口です。2年生の頃からずっと学生会をされていて、去年は会長を務めました。

窪田：5Aの窪田です。学科団長をやらせてもらっているいろいろなことを学びました。

司会：ありがとうございます。皆さんは学生会活動、高専祭、部活等各方面で活躍されました。特に印象に残ったことをお聞かせ下さい。

狩野：やっぱり高専での一大行事である体育祭や高専祭です。体育祭では、機械科は人文字の練習がきつくて、その代わり終わった後は大きな安堵感がありました。それがまた気持ち良かったです。

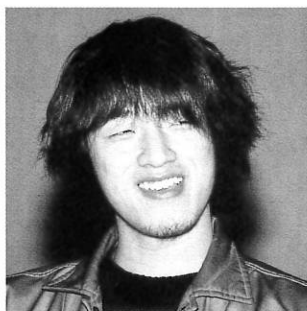
去年は実行委員長をやらせてもらった高専祭でいろいろと頑張りましたが、なにぶん初めてで他の人に助けられてなんとか成功させることができ、とても嬉しかったです。

司会：体育祭での人文字素晴らしかった！練習はどこでいつされたのですか。

狩野：機械科の中庭で夜遅く、暗くなるまでやりました。体育祭では機械科が総合優勝でき、とても嬉しかったです。相当頑張りました。辛さもありましたが、嬉しさもひとしおでした。

司会：応援も感動しました。

さて体育祭で連続優勝を目指していた窪田君いかがですか。



窪田：去年も負けるつもりはなかったんですけどね。

僕も団長していたんですが、去年高専祭よりも体育祭をしたかったなあ。どちらかというとは血の気の多い方なんで、できれば前年負けたので(去年体育祭をやった)勝たかったなあ、また優勝したかったなあ。



森田：体育祭とか高専祭とかも印象には残っているんですけど、やっぱり5年間バスケットを続けて部活が一番思い出に残っています。

全国大会に連続3回行かせてもらいました。全国大会で3位でしたが、いい経験になりました。

山崎：僕は、1年で応援団、2年で正式ではないけど高専祭実行委員、3年で正式な高専祭実行委員をやって、4年でまた応援団とプロコンと学生会、5年で高専祭とプロコン。その年々で自分のやりたいことをとりあえずやってみて、思い出を作りました。

部活に関しても、1年ではバスケットをし、3年の直前からはブラバンをしました。高専は自由な時間が多いから、時間を有効に使おうと思っていろいろやってみました。



井口：5年間の思い出はテニス部の部活です。寮生の頃は朝練をして土日にも練習の日々でした。

「九州大会で女子ダブルスで3位が取れたのが良かったね」とペアの人と言っていたんですけど、やっぱり1年生から一緒に

頑張ってきたメンバーで5年間やってきたことが一番の思い出です。

窪田：体育祭、高専祭もかなり思い出深かったんですけど、留年したことが大きな出来事、人生の節目だったかなと思います。初め、飯も喉に入らない状態だったんですけど、今は留年して良かったと思います。いろいろなことが経験でき、その1年分プラスで団長も経験できたし…。

司会：プラス思考でこの1年を過ごされたんですね。思い出深い高専生活を過ごされました。

森田さんバスケットに関して追加されることはありませんか。

森田：全国大会よりも、去年の九州大会の方が思い出深いです。優勝はできたんですけど、私達5年が一番引張っていかないといけないのになんもできなかったから、優勝はできて嬉しいけど個人的には悔しい思いがあります。

司会：高専祭を実行委員長として引張られた狩野君どうだったのでしょうか。大変なこともあったと思いますが。

狩野：高専祭実行委員会が発足したのが2月で、実質1

平成13年1月10日(水) 於 有明高専大会議室

出席者：機械工学科5年 狩野 佑介、電気工学科5年 森田 豊美、電子情報工学科5年 山崎 博之
物質工学科5年 井口美智子、建築学科5年 窪田 隆介 司会：中川 忠昭先生

年近く活動を行い長期にわたって準備しました。

今年の学生会には、高専祭実行委員の経験者がいなくて、皆、何をしてもよいのかわかりませんでした。作業が遅れ、だんだん焦ってきましたが、皆でサポートしながら、なんとかがんばって間に合ったという感じです。今年の高専祭は、みんなの協力があって成功させたようなものです。

司会：プログラミングコンテストについて話を聞かせて下さい。

山崎：プログラミングコンテストに去年、2回目の出場をしました。大学受験や卒研との兼ね合いもあって制作がなかなか思うように進まず最初から完璧なプログラムに仕上がっていなかったの、勝ち抜けるとは思っていませんでしたが、案の定1回戦対戦相手に全然手も足も出ない状態でした。わかってはいたんですけど、ホント悔しくて、トイレで一人涙を流した思い出があります。来年出場する人は、ぜひ頑張ってください。どちらかというと特別講師として、また参加したいくらいですけどね(笑)。

司会：部活ではプラスバンドに3年から入られたと聞きましたが。

山崎：ひよんなことから誘われて、なかば強引に入れられた感じだったんですけど、今では自分の生活の一部となっています。それまで音楽関係には全然というほど触れたことがなかったんですけど、楽器を吹くってすごく楽しいことなんです。みんなで演奏となると、100倍も楽しい！この感覚、経験したことのない人はぜひ味わってほしいですね。それと演奏で人と触れ合うことが何よりも楽しかったです。小学校、養護学校、老人ホーム、駅前、そして定期演奏会、様々な演奏をしました。4月から大学でも続けます。

司会：学生会長をされた井口さんはどうですか？

井口：やっぱり女性ということで、デメリットも多かったと思いますが、その分下級生の役員が協力的に動いてくれたこと、同じ5年生の役員が最上級生としての自覚をもって行動し、私の大きな支えとなってくれたのが、とてもよかったです。

司会：団長をされた思い出ではどうですか、窪田君。

窪田：団長をやる前は、「怖い人」「大変そうだなあ」というイメージだったんですが、いざ自分がやってみると、何をやるにもみんなをまとめ、引っ張っていき、そして実行していかなければならず、思っていた以上に大変で

した。自分勝手に決めたこともあり、反感を買うこともありました。とにかくいろいろ大変でした。

司会：後輩へのアドバイスをそれぞれお願いします。

狩野：ソフトテニス部で5年間続け、部長もやりました。部活に入ると後輩、先輩の友達もでき、いろいろな話も聞けるので、やはり部活は入って5年間続けた方がよいです。

それから就職、進学への決定は早い方がよく、それに向けて努力したほうがよいと思います。

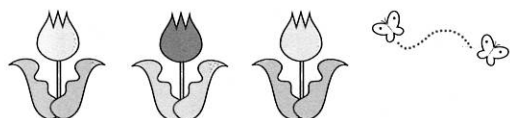
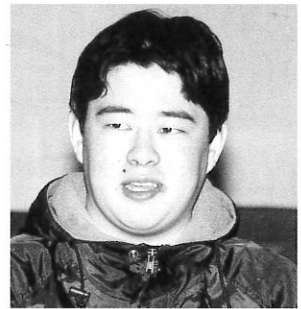
森田：部活をした方がよいと思います。部活を退めて思ったのが、部活をしていないと時間をかなり有効に使えるなどということ。部活をしていない人はその時間を有効に使ってやりたいことを精一杯やりたいと思います。

山崎：僕も暇な自由な時間があるなら『とりあえず何かやってみる』って感じですね。やればプラスになるし、やらなければ何も変わらず、それこそマイナスになると思います。いろいろやってみて自分の好きなことが見つければそれを伸ばせばよいし、自分にあわなくてもマイナスになることはないと思います。それが経験として後々役に立つこともあると思います。

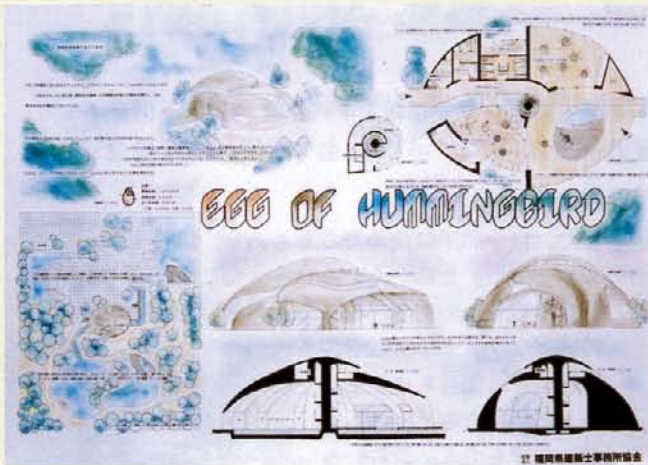
井口：高専生は進学者も多いけど、ほとんどが就職です。学生生活はこの学校が最後という人が多いから学生のうちにしかできないことをいっぱいやってほしいと思います。部活とかボランティアとか友達と旅行に行くとか球技大会で張り切るとか、いろいろ思いついたことは悔いの残らないようになんでもやっておいた方がよいと思います。

窪田：みんな言いたいことは全部言われてしまったので(笑) みんなが言ったようにいろんなことにチャレンジしてください。

司会：今日は有意義な話を聞かせていただきました。卒業研究の発表まであとわずかです。頑張ってください。4月からはそれぞれの新しい道をしっかり進んでください。ありがとうございました。



～過去最多～



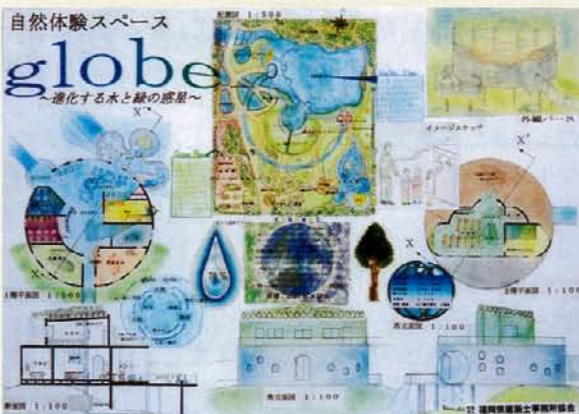
▲▼ 知事賞 3年 村山慎太郎君の作品



本校建築学科の学生は、(社)福岡県建築士事務所協会主催の建築設計競技に応募し過去最多の入賞を果たしました。課題は、高校の部が「都市公園内のレストハウス～都市環境整美の基地として～」、専門学校の部が「自然公園内のセミナーハウス～社会参画による自然環境保護活動～」で、ますます重要な社会問題となっている「環境」がテーマでした。

高校の部には県内から74点の応募があり、3年村山慎太郎君の知事賞、小川智子さんの金賞を含めて14名が入賞し、優秀学校賞を獲得することができました。専門学校の部には県内から131点の応募があり、入賞は2名にとどまりましたが、5年の安田佳代さんは3年連続の入賞を果たしました。成績は右の通りです。

▼ 銀賞 3年 中園香織さんの作品



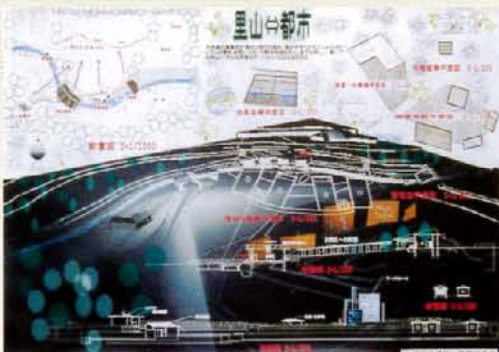
▼ 銅賞 3年 諏訪園未帆さんの作品



知事賞 村山慎太郎

最近、よく耳にすりました。今回の課題での「レストハウス」を考え、納得いくものか。この興味深い課題で知もうれしく思い、これです。

▼ 佳作 5年 安田佳代さんの作品



▼ 佳作 3年 坂口 朱さんの作品



▼ 表彰



建築設計競技

の入賞～

| 賞 | 受賞者 | 作品名 |
|-----|----------|--------------------|
| 知事賞 | 3年 村山慎太郎 | EGG OF HUMMINGBIRD |
| 金賞 | 3年 小川 智子 | 虹色の天使 |
| 銀賞 | 3年 中園 香織 | globe |
| 銅賞 | 3年 諏訪園未帆 | Sky |
| | 3年 染岡 雅明 | 自然の庭 |
| | 3年 溝田 紋子 | サボテンの小陰 |
| 佳作 | 3年 坂口 朱 | えん1号 |
| | 3年 清家 孝博 | 蝶翔園 |
| | 3年 月岡明菜美 | トトコの森 |
| 協会賞 | 3年 浦野 弥生 | 拾円玉 |
| | 3年 高倉 純 | OLD ELEMENTS |
| | 3年 千々松冴子 | 水源の森 |
| | 3年 三山 容弘 | 忘れ物の森 |
| | 3年 山下 麻凡 | 恵みの水 |
| 佳作 | 5年 安田 佳代 | 里山⇄都市 |
| 協会賞 | 4年 前田 圭子 | 宇宙船地球号 hope |



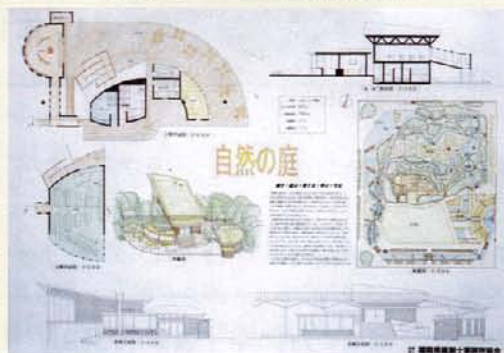
▲▼ 金賞 3年 小川智子さんの作品



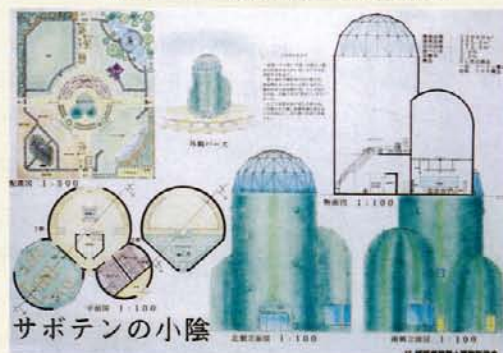
君のコメント

「環境」には以前から関心がある。「都市環境整美の基地」として自分なりに一生懸命設計できたと思っています。事賞を受賞できたことをとてからも努力していこうと思

▼ 銅賞 3年 染岡雅明君の作品



▼ 銅賞 3年 溝田紋子さんの作品



式



▼ 佳作 3年 清家孝博君の作品



▼ 佳作 3年 月岡明菜美さんの作品



九州地区ラグビー高専大会

平成12年11月18日(土)~21日(火)

キャプテン 物質工学科5年 久保 孝一

昨年、一つ上の代が7人抜け、残った部員は試合ができる人数ではなく、体格もおそらく九州一小さい。おそらく誰もがこの新チームを見て、最悪の結果を予想しただろう。主将の自分ですら、1年のときの高専大会で都城に78-0で1回戦負けしたときのことを思い出した。事実そのときより戦力は悪かった。あれから10ヶ月、OBにいろいろ言われたが、自分のラグビー論に基づく練習内容にこだわった。部員達も、今までと違って、自分で考え、工夫し、実行する力を

身につけ、一人一人がかなり成長した。

そして迎えた高専大会1回戦、相手は八代高専。前半、緊張して空まわりしていたこともあって、苦戦したが、この大会のために他の部活から来てもらったみんなの助けもあり、54-0という大差で勝つことができた。10ヶ月前には全く予想できなかった結果だった。

2回戦は、両チーム共に特別の想いのある久留米戦だった。全国行きのかかった試合にふさわしい戦いで17-17の同点に終わったが、トライ数の差でおしくも全国行きを逃した。

でも、春の公式戦では34-3で負け、その後何人かの部員が退め、ラグビーを始めてわずか2週間の助っ人がスタメンやってるようなチームが、この大会で同点にできるまでに成長したことを誇りに思う。最後に、5年間のラグビー生活を楽しかったと思って終わったことが一番幸せなことだった。



冬季球技大会

平成12年11月30日(木)



| | 1 位 | 2 位 | MVP |
|---------|---------|---------|------------------|
| 男子バスケット | 機械工学科5年 | 建築学科4年 | 機械工学科5年 原田 博士 |
| 女子バスケット | 建築学科5年 | 物質工学科4年 | 建築学科5年 小宮 智華 |
| サッカー | 電気工学科5年 | 機械工学科3年 | 電気工学科5年 杉野 和也 |
| ハンドボール | 機械工学科4年 | 機械工学科5年 | 機械工学科4年 山口賢次郎 |
| 卓球 | 機械工学科1年 | 電気工学科2年 | 機械工学科1年 水町 亮介 |



陸上部

建築学科3年 山下 麻凡

私達陸上部は、現在部員22名で活動しています。高専大会後5年生が10名も引退してしまい、人数は急激に減ってしまいましたが、毎日放課後、午後4時半から約2時間、皆で練習に励んでいます。練習はたいい短距離と長距離に分かれて行い、練習メニューは自分達で決めています。練習場所は主に運動場や外周ですが、冬期練習期間は体力づくりのために、高専坂を走ることよくあります。特に今の時期は大会も少なく、春に向けての強化練習が中心となります。内容がハードなときもありますが、皆で一緒に練習しているので「きつくても頑張ろう!」という気持ちが湧いてくるのです。だから皆、最後まで、力を抜くことなく、それが練習であっても試合であっても、常に全力で走るように心がけています。また、雨の日は、室内で筋力強化を目的とした筋力トレーニングに力を入れています。一般教育棟のロビーでなわとびや階段を使った練習を行い、余った時間はそれぞれ自主トレの時間にあてています。毎日の練習の積み重ねで、今回も3人が全国高専体育大会へ出場することができました。残念ながら全国大会への切符を手になできなかった人達も、その悔しさをバネに夏へ向けて、それぞれの自己ベストを少しでも更新できるように頑張っています。一人でも多くの人が自分のもつ目標を達成できるように、私達陸上部員は毎日寒さに立ち向かいながら走っています。



バドミントン部

電子情報工学科4年 松田 智恵

私達バドミントン部は創立から約13年が経ち、部員一同さらなる向上のために毎日練習に励んでいます。夏に行われた九州地区高専大会では、男子団体は惜しくも敗れたものの、男子シングルス優勝、女子ダブルス2位、女子シングルス3位と、個人戦では大きな成果を得ることができました。さらに、その後の全国大会では男子シングルスで悲願の優勝を果たし、全国制覇という部の最大の目標の一つ達成することができました。このことは部員みんなの大きな糧となりました。次は、他の種目での全国制覇を新たな目標とし、まずは7月の九州地区大会に向けて、頑張っていこうと思います。

現在バドミントン部は男子7名、女子11名、計18名で活動しています。今年度は人数が減り少し寂しくなりましたが、みんなで協力しながら頑張っています。4月には高体連の試合もあります。2年生以下の部員はいい結果が残せるよう、頑張って練習しています。3年生、4年生は高体連に出ることはできませんが、主催の試合など一般の大会で、高体連メンバーに負けないような結果を出せるように一緒に頑張っています。もしバドミントンに興味のある人がいたら、一度体育館に見学に来て下さい。見るだけでも十分に面白いスポーツなので、ぜひ見に来て下さい。もちろん部員も募集中です。バドミントンを一度体験してみませんか。



工場見学報告

電気工学科5年 森山 星児

僕たち電気工学科5年は、長崎地区工場見学として、11月9日(木)に長崎造船所へ、10日(金)に三菱電機長崎へ行きました。

4ヶ月後には卒業を迎え、実社会へエンジニアとしてはばたいていく僕たちにとって、今回の工場見学は例年にも増して重要なものでした。入社前に実際の職場の空気を肌で感じることができる最後の機会だからです。特に、少しの気の緩みが大きな事故を起こしかねない工場では、その緊張感や、働いている方々の熱意をより一層強く感じることができました。

また、長崎の夜景にはとても感動しました。僕が夜景を見た場所は周りをお墓で囲まれているのですが、そこに眠る多くの方々の過去の日々の努力がこの夜景をつくってきたのかと思うと、お墓は自然に夜景に溶け込み、美しいとさえ思えるほどでした。

卒業後、みんなは日本各地あるいは世界に出ていくことになると思います。けれど、形は違えど、どの街も長崎と同じように多くの人々の日々の努力によってつくられてきたことに間違いはありません。そして、その出番は僕たちにも回ってきたのです。幸運にも、僕たちには21世紀という素晴らしい舞台が用意されています。高専生活で学んだ多くのことを胸に、この晴舞台を精一杯生き抜いていきたいと思います。



電子情報工学科3年 元山 幹生

電子情報工学科3年生は、11月9日(木)・10日(金)の2日間、鹿児島へ工場見学へ行った。

初日に訪れたのは川内原子力発電所だ。発電所は豊かな自然に囲まれた場所に建っていた。この自然の中で地質や海水の汚染調査が行われているようだ。また、いたる所に放射能の測定器があり、放射能の影響には特に細心の注意が払われていることがわかった。さらに、事故を未然に防ぐために原子炉に備えられている二重三重の安全装置や3人の所員による巡視などの対策がとられていた。

私は原子力と聞くとどうしても怖い印象をもっていたのだが、この見学によって安全対策が何重にも取られていることを知り安心した。また、発電所なのに、省エネ対策がしっかりとなされていることには驚いた。例えば、「省エネのために上下3階は階段を使おう」という標語がエレベータの横にあった。

2日目に訪れたのは携帯電話で有名な京セラの国分工場だ。この工場は、京セラの工場の中では最大の部品工場でもある。ここには、研究・開発のための設備もあった。会社の方の話では、同業者に抜かれないために、将来を考えて研究・開発にも力を入れているようだ。今回の工場見学は、私たちの勉強や就職活動にたいへんプラスになった。



■ 第2回工事担任者試験合格者 (いずれも電気工学科)

- デジタル第1種→4年 釜田 康次 5年 高木 昭徳
- デジタル第2種→4年 中村 勝 5年 山内絵美子
- デジタル第3種→3年 橋本 貴之 4年 田中 秀樹 4年 久保山新太郎
- アナログ第1種→4年 新庄 信博

■ 電気主任技術者合格者 (いずれも電気工学科)

- 第3種→5年 古賀 剛 5年 中田 耕二

特別講演会

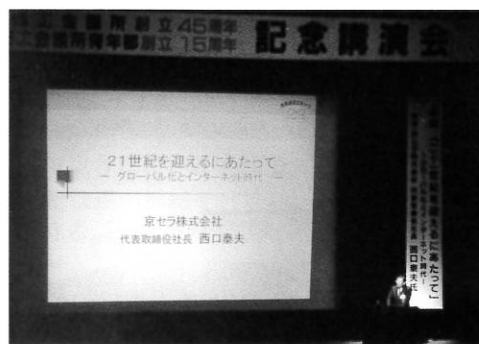
平成12年10月30日(月)

高専祭の一環である特別講演会は、今回、荒尾市商工会議所45周年記念講演に共催として参加し、去る10月30日、荒尾総合文化センターにて行われました。講師に京セラ株式会社代表取締役社長、西口泰夫氏をお迎えし、「21世紀を迎えるにあたって」という講演を、全学生で聴講しました。

世界基準で政治・経済活動を行うグローバル化について、先進国首脳会議、世界貿易機関等を例にとり、話が進められました。また、日・米の違いとして、個人・企業において自分の主義を明確に主張し戦略的に物事を進める米国に対し、四季を基準に計画を実行する日本についての分析がなされ、公平をもとに自由な競争を行うアメリカン・スタンダードを、ダンピング問題、貿易障害の廃止、非関税、市場開放を例として述べられました。そして、グローバル・スタンダード化が急務であると論ぜられました。さらに、副題である「グローバル化とインターネット時代」として、地球環境におけるオゾン層の破壊、エネルギー問題、物質文化から精神文化への移行、地球規模の通信手段として高速ネットワークや携帯網の飛躍的増加によるコンピュータと通信の融合について話され、情報技術を活用できるか否かにより、人、国、企業に格差が生じるであろうから、

人類の真の豊かさと創造のために、どのようにインターネットを活用すべきかが21世紀の課題であるということが話されました。最後に、ご自身の半生について話され、特に若い学生に向けて、人生の先輩として、先が見えず難しい時代であるが一生懸命生きて欲しい、また、ご自身が大阪府立高専に勤められたこともあって、高専生には技術の道をしっかり進んで欲しいと、心に残る言葉で話を終えられました。

OHPを使い熱のあるわかりやすい講演と、ブース作りをしてあるアートフォーラムにより、学生は良い見聞ができたと思います。(学生主事 仁田原 元)



留学生弁論大会

在熊留学生の日本語弁論大会が2月3日(土)、熊本市の市国際交流会館で行われました。本校からは、3Cのリラさん(インドネシア)、3Iのタンさん(マレーシア)、3Eのジェイ君(フィリピン)の3名が出場しました。

流暢な日本語で堂々とした弁論を展開し、リラさんとタンさんが見事「優秀賞」に選ばれました。



| | | | | | | | |
|--------------------|-----|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 工業英検 合格者 | 3 級 | 2I 中山 順博 | 3I 後藤 武史 | 3I 元山 幹生 | 4E 福山 祐佳 | | |
| | 4 級 | 1C 武藤 翼 | 1C 塚本 文 | 3E 柿原 亜耶 | 3E 古賀 沙織 | 3E 菅谷 寿人 | 3E 橋本 貴之 |
| | | 3E 矢山 高裕 | 3I 中島 朋子 | 4M 古川 静香 | 4M 宮崎 義章 | 4E 徳永 寛之 | 4E 福山 祐佳 |
| | | 5I 平川 理江 | | | | | |
| 第1回 英語検定 合格者 | 2 級 | 5A 吉富 寛子 | | | | | |
| | 準2級 | 1I 釘野 貴史 | 2I 田中 一平 | 2I 橋本慎太郎 | 2I 平野 峰義 | 3M 友岡 康祐 | 3I 坂井 健二 |
| | | 3I 中山 英明 | 3I 岩上 隆嗣 | 3I 古賀 正一 | 3I 西川 真 | 3I 丸田 公将 | 3I 宮本 竜弥 |
| | | 3C 立山 卓司 | 3C 仲山 貴幸 | 3C 西岡真理子 | 3C リラ | 3A 浦野 弥生 | 3A 柿原美代子 |
| | | 3A 高木 隆正 | 3A 北野 雄大 | 3A 清田 智子 | 4M 甲斐 隆嗣 | 4M 高井良裕美 | |
| | | 1I 野田 薫 | 1I 菅原美和子 | 1I 堤 恵美 | 1I 長塚 由紀 | 1A 阪田由香利 | |
| 第2回 英語検定 合格者 | 準1級 | 3C リラ | | | | | |
| | 2 級 | 3I 松藤 吏 | | | | | |
| | 準2級 | 1M 井口 裕介 | 1C 堤 奈緒子 | 1A 辛島 一樹 | 2M 馬渡 祥子 | 2E 中ノ森 崇 | 2I 緒方 伸一 |
| | | 2I 森島亜希子 | 2I 古賀 裕輔 | 2I 竹下 香織 | 2I 田中 健太 | 2C 中島あゆみ | 2A 大古場一樹 |
| | | 2A 下川ナルミ | 2A 玉元 千裕 | 2A 松岡 由佳 | 3E 柿原 亜耶 | 3I 江崎 真彦 | 3A 坂口 直剛 |
| | | 3C 石川 真弓 | 3C 古賀 詩織 | 3C 寺崎 悠子 | 3C 松岡いずみ | 3C 横尾 栄満 | 3A 花田 佳奈 |
| | | 4M 梶原 理宏 | 4C 永田 照美 | | | | |
| | 3 級 | 1C 境 舞 | 1C 嶋田 明香 | 1C 松藤さやか | 1C 松本 有希 | 1C 山下 祐司 | 1C 吉田 佳奈 |
| | | 2M 清水 茂 | 2M 田嶋 大輔 | 2M 原崎 孝央 | | | |

新学生会

会長挨拶

機械工学科4年 梶原 理宏

今の私には学校を変えたいという気持ちが強くあります。今年は形にこだわらず、高専らしい自由かつ想像力豊かな発想で、どこの高専よりも良い意味での学校造りを目指していきます。だから、意見や要望を新役員や意見箱に投げかけて下さい。役員は、クラスの友達、学科の先輩、後輩であり、特別な存在ではないのです。こういうところを変えたいと思っけていても、何かを起こさなければ何も変わりはありません。だから、改革を起こして学校を盛り上げていこうではありませんか！



平成13年度 学生会役員

| | |
|-----|--|
| 会長 | 4M 梶原 理宏 |
| 副会長 | 4A 江島 大輔、3C 西 彰敏 |
| 渉外 | 4C 梅原 幸、3I 長淵 徹 |
| 会計 | 4C 坂本有佳子、3E 吉谷 友輔 |
| 体育局 | 4A 田川 裕佳、2A 大古場一樹 1I 宮田 俊介 |
| 文化局 | 4M 甲斐 隆嗣、4M 中田 翔 3A 山下 麻凡、3E 中島 修二 |
| 整美局 | 4M 森下 真奈、4C 平野 浩一 2I 田中 健太 |
| 風紀局 | 3E 坂本 政徳、3E 行里 武英 2C 徳田 早苗 |
| 報道局 | 4M 浦崎 文香、4I 武末 彰 4M 高井良裕美、2A 熊谷 亮 2E 吉開 利通 |
| 放送局 | 4A 今村 晶子、2C 末安加代子 |

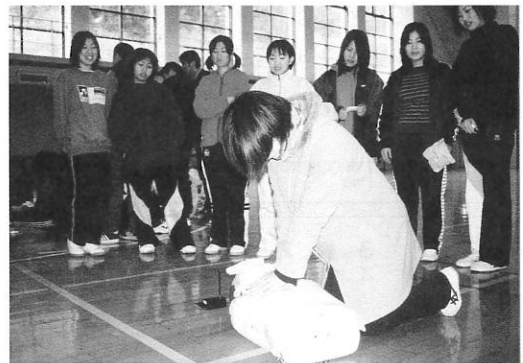
クラブリーダー研修

平成13年1月26日(金)・27日(土)に福岡県立社会教育総合センターにおいて体育系クラブ指導者研修会が行われました。参加者は学生32名・教官17名の総勢49名でした。

初日の全体会では顧問教官5名による競技力向上および運営に関する講演が行われました。2日目には心肺蘇生法についての説明を受け、マウスツーマウス法・心臓マッサージ法を実習しました。後半の分科会では、学生は3グループに分かれ「リーダーの仕事と役割」というテーマで討論を行い、その後の全体会でまとめを行いました。

短い時間でしたが内容の濃い研修会でした。

(学生主事補 村岡 良紀)



Information of Taimei RY ♡

From Boss



みなさん初めまして、新寮長の梶原です。今年は21世紀という大きな節目を迎え、我が岱明寮もその節目にふさわしい活気あふれる寮にしていきたいと思っています。

寮生はこれまで通学生から偏見をもたれることがありましたが、今年はクリーンな寮を目指してもっと通学生にも理解される寮にしていきたいです。まず最初の課題は…勉強ですね。(;>_<)

寮長の独断と偏見による寮生会各局の仕事内容

- 書記…話し合い時の記録(今年の書記は字がかわいい)
- 渉外…主に各行事での開閉会宣言担当
- 会計局…ある意味お母さんの存在
- 風紀局…花壇の風紀はみださない!
- 整備局…寮の美化と共に目が離せない存在
- 体育局…球技大会の運営
- 厚生局…テスト期間中の夜食配布係
- 報道局…球技大会のプログラムの作成。今回の高専だより用のレイアウトを考えました
- 写真局…一瞬に情熱をかける狐独のカメラマン
- 照明…この人がいないと寮祭、予餞会は暗くて仕方がない
- 娯楽局…球技大会、寮祭、予餞会とお菓子や豪華粗品を買ってきます
- 桜棟(女子棟)長兼副寮長…女子寮生をまとめるボス

平成13年度 寮生会役員

| | | |
|-----------|------------------|------------------|
| 寮長 | 4M 梶原理宏 | |
| 副寮長 | 3E 今村英樹 | 4M 浦崎文香 |
| 総務書記 | 4M 中山史朗 | |
| 渉外 | 4M 中田 翔 | |
| 各局 | 局長 | 副局長 |
| 会計局 | 4A 古賀美啓 | 2C 本宮竜介 |
| 風紀局 | 4M 花田慎伍 | 3E 八田敬太 |
| 整備局 | 3I 長淵 徹 | 2E 吉田達紀 |
| 体育局 | 3E 江口嘉伸 | 3C 玉越充洋 |
| 厚生局 | 3M 足立 崇 | 2M 磯野将文 |
| 報道局 | 4M 今任 涉 | 3E 山本邦博 |
| 写真局 | 4E 古江陽光 | 2E 山崎進一 |
| 照明 | 2A 舩岡壮樹 | 1E 井手秀一 |
| 桜棟 | 4M 浦崎文香 (副寮長) | 3A 山下麻凡 (副棟長) |

ぶっあいていんくぼおる Fighting BALL



1月13日(土)に恒例の寮生冬季球技大会が行われました。今回は、雪でグラウンドが使えなかったため、雨天時の球技になり、男子はバレー、女子はビーチボールバレーをしました。本当は晴天時のサッカーをしたかったのですが、吉田先生がこの寮の主事となられてから、様々な行事において雨というジンクスのおかげで、できなくなってしまったことをおわびいたします。

寒い中、1年生から5年生まで、白熱した試合が行われました。今までと少し変えて、予選の試合数を増やして決勝トーナメントをなくしました。これで今まで予選落ちで少ししか、試合ができなかったチームも試合ができたと思います。優勝チームである银杏棟の「Arata・コスギ」の方々おめでとうございます。そして、寒い中、参加していただきました寮関係の教職員の皆様および江川さんありがとうございました。



吹奏楽部定期演奏会



定期演奏会を終えて

建築学科3年 西山 敏史

去る1月20日(土)、吹奏楽部による定期演奏会が大牟田文化会館大ホールで行われました。高専関係者を含むたくさんの方々をご来場くださいました。今回で32回目となるこの演奏会のテーマは“identity”です。これには「部員一人一人の個性をいかした高専らしい演奏会にしよう」という願いが込められています。わが部の定期演奏会は、伝統的に3年生が実行委員となって企画・運営をしていますが、今年の3年生は例年よりはるかに少ない5人だったので、いろいろな苦勞がありました。しかし、先輩方や下級生のみんなに支えられて、何とか乗り切ることができたと思います。

昨年の定期演奏会が終わってからこの1年間、私は実行委員長という大役をまかされ、プレッシャーを感じながらもなんとかその仕事をやってきたつもりでした。それでも

演奏会当日は、初めて経験する舞台のセッティングや裏方さんとの打ち合わせなどに戸惑い、気持ちは焦るばかりでした。しかし、全ての演奏が終わって幕がスーッと降りてきたとき、今まで背負っていた重荷はあとかたもなく消え失せ、すがすがしい気持ちでいっぱいになりました。そして、会場から出て行くお客様を見送りにロビーに集まったとき、涙を流している部員たちを見て、5人という少ないメンバーでも良い演奏ができるのだと自信を持つことができました。5年生の先輩にとってはこれが最後の演奏会になるので、悔いの残らない演奏をしてもらいたいとずっと思っていました。その先輩方から「すてきな演奏会を開いてくれてありがとう」と言われたとき、私自身も思わず涙があふれ、実行委員長をやってよかったと実感しました。本当に、貴重な経験だったと思います。

最後になりましたが、演奏会を開催するにあたって、お世話になった教職員の皆様、またご来場くださった皆様に、この場をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。



編集後記

春を待つ心は優しく寛大で繊細だ。厳しい寒さに包まれていようとも、必ず訪れるであろう春を信じ、穏やかにその時を待つ。松葉を縫う寒風に潜むかすかな温もり、竹林の息吹、寒梅のほのかな香りなど春の兆しを喜びをもって感じられるのもあわてず泰然としてその時を待つ心があるからであろう。

近頃、私たちはこの待つ心を忘れてはいないか、慌ててはいないか、早急に結果を求めてはいないか。学生生活にも冬は必ず訪れる。長く厳しい冬もあろう。じっくりと待とう。青春という美しくかけがえのない春は必ず来る。この高専だよりが手元に届く頃、巷の春はすぐそこまで来ている。

有明高専だより 第103号

平成13年3月1日発行

編集：有明高専広報委員会

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

<http://www.ariake-nct.ac.jp/>